



豊島区
生涯学習推進
ビジョン
2020-2024

豊島区生涯学習 推進ビジョンの 策定にあたって



区は、これまで育んできた多様な文化を生かし、文化の力で日本のリーダーとなるまち「国際アート・カルチャー都市」を目指しています。生涯学習は、区の推進する文化施策において「推進力」となるものです。なぜなら、文化とは、人々が集い、関わりあい、そしてよりよい社会を築こうとする中から生まれるものだからです。

豊島区生涯学習推進計画(以下「前計画」という。)は、平成22(2010)年度から令和元(2019)年度までの10ヵ年で策定し、「区民が主体の学びの循環(わ)をつくる」を計画の目標に、区民の生涯学習活動の支援を行ってまいりました。自ら学び、学んだ成果を生かして新たな学びを創り出す区民が活躍できる場が増えてきていることから、前計画は一定の成果をあげることができました。

しかしながら、生涯学習を取り巻く環境も、前計画が策定された当時から、めまぐるしく変化しています。区では、少子高齢化がすすみ、令和2年の65歳以上の人口構造は19.8%と1980年代に比べ倍増し、0～14歳までの子どもの人口構造は9.0%と大幅に減少しています。また、外国籍の人口は、令和2年には10.2%を占めており、グローバル化が進んでいる状況です。こうした変化はなお一層続いていくものと予測されます。

このような社会変化に対応し、国際アート・カルチャー都市を実現していくために、「都市型」の生涯学習がどうあるべきなのか、区民の学びを支援する「支援者」を支援していく仕組みをどうつくるべきなのかについて、5年後のあるべき姿を示し、目標に向かって実践してまいりたいと存じます。

最後になりましたが、「豊島区生涯学習推進ビジョン」(以下「ビジョン」という。)の策定にあたり、貴重なご意見をいただいた区民の皆様、ならびに精力的にご検討いただいた生涯学習推進協議会の委員の皆様には厚くお礼申し上げます。





目次

P1 はじめに

生涯学習とは

P3 第1章 計画の改定にあたって

1-1 計画改定の背景

- (1) 国の状況
- (2) 都の状況
- (3) 豊島区の状況

1-2 前計画のふりかえりと今後の方向性

- (1) つどう
- (2) つながる
- (3) つなげる
- (4) つくりだす

1-3 ビジョンの位置づけ

1-4 ビジョンの期間

P11 第2章 生涯学習の推進に向けて

2-1 生涯学習推進の目標

2-2 施策の体系図

P19 第3章 としま学びスタイルの実現に向けて

3-1 としま学びスタイルの基盤をつくるために

- (1) としま学びスタイルの担い手を増やし広げる
- (2) 学んだ成果を発信する機会を広げる
- (3) 多様なネットワークを重ねて広げる

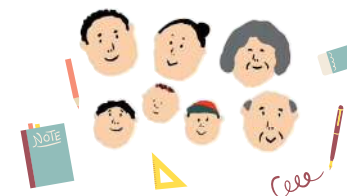
3-2 評価体制

P27 資料編



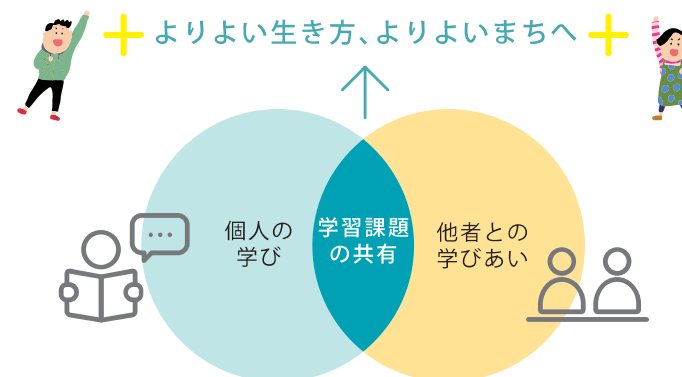
生涯学習とは

生涯の様々な時期にあらゆる機会や場所において、年齢や国籍の違い、障害の有無にかかわらず、学習する人の自発性を尊重し、個人や集団で行う学習活動を「生涯学習」といいます。



生涯学習には、生活の課題を解決するための学びや趣味や教養を深めるような学びとともに、学んだことを生かして社会や地域のために役立てることも含まれています。

現在のように変化が激しい時代においては、学校教育において基本的な知識や技能を身につけたうえで、必要に応じて自ら学び、その知識を応用し発展させていくことが求められています。様々な情報を選択し、自ら考え、行動する個人の学びを深めることとともに、人と協力し、学びあいのネットワークを広げていくことも重要です。そして、学びあいの中から、学習課題を共有し、自分の生き方や自分たちの住むまちをより良いものに変えていける力が生み出されるのです。



豊島区は平成22年10月に策定した前計画に基づき、
生涯学習施策を推進してきました。

今後は学んだ人がその経験を生かして、
新たに学びたいと思う人の支援や地域の魅力向上などへと
学びの輪を広げていく必要があります。

これまでの前計画を踏まえつつ、
生涯学習に関わる区民、団体、NPO、企業、大学、区などが
目指していく目標を共有し、連携して
生涯学習を推進するための基本的な方針として、
「豊島区生涯学習推進ビジョン 2020-2024」
を策定します。

